

## 令和6年度市民フォーラムのコンセプト

来年の全国廃棄物資源循環学会名古屋大会の開催を念頭においた市民フォーラムとする。

### 1. はじめに

前回（平成30年）の名古屋大会では【持続可能な資源循環とものづくり～目指せ安心・安全な循環型未来都市を】をテーマとして、次のようなコンセプトを掲げました。

- ① ストック資源の効率的かつ持続的活用、② 廃棄物の安心・安全な処理とリサイクル（資源環境）、③ 災害に強いまちづくりの再構築

今回の市民フォーラムでも、同様にこのコンセプトを継続させて、今までの支部活動を踏まえたうえで、そのメインテーマは東海・北陸支部の今後の取り組みとして『「ひとづくり」と「ものづくり」に配慮した持続可能な循環型社会の構築』を目標とします。

また、当支部は、人と環境のかかわりについての正しい認識に立ち、自ら責任ある行動をもって社会づくりに参加できる「ひとづくり」を進めています。その中で「環境教育への取り組み」も策定から約18年が過ぎようとしています。

### 2. 検討するにあたり基本理念の整理を！

我が国が人口減少、少子・高齢化社会を迎える中、経済成長を支える専門人材の育成は不可欠です。地域社会を支える人材育成と、ものづくり分野の振興が地域の産業を支える上で必須です。この取り組みは、ものづくり人材の育成と地域産業の振興に大きな影響を与えるでしょう。

また、グローバル化や産業の変化、技術革新が進む中で、ものづくりへの理解を深め、持続可能な社会システムや人間の豊かさを実現する未来を構築するために、環境と「ひとづくり」を目指した地域活動が大切です。

持続可能な社会システムや人間の豊かさを実現する未来を構築するためには、「人」と「コミュニティ」を生かした「持続可能な資源環境への発展」が重要となります。

学会構成員である大学、市民、行政、企業が、様々な問題・課題に直面しながら「持続可能な地域づくり」への取り組みと『東海・北陸地域の特性を生かした事業活動』を根付かせることが必要です。